

【本日のながれ】

＊古賀市高齢者等見守りシール交付事業

- ・<説明>
見守りシール（どこシル伝言板）の仕組みについて
- ・<体験>
実際にQRコード読み取り、発見者を体験してみよう
※ スマートフォンのご準備をお願い致します

どこシル伝言板[®]とは

あらかじめ登録された高齢者が行方不明になった際、衣類等に貼ったQRコードが読み取られると、**家族等へ瞬時に「発見通知メール」が届きます。**発見者はQRコードを読み取ると、ニックネームや注意すべきことなどが表示され、対処方法がわかります。発見者と保護者等は、チャット形式の**伝言板で情報交換ができ、お迎えまでのやり取りを迅速に行うことができます。**

(イメージ)

“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



共創未来

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

認知症高齢者・障がい者等 保護情報共有サービス



特許第6944237号



※QRコードをスマートフォンで読み取ると『発見者から見たどこシル伝言板の流れ』が動画で視聴できます。



東邦ホールディングス株式会社 東邦薬品株式会社

株式会社セイエル 株式会社幸耀 九州東邦株式会社 沖縄東邦株式会社

見守りシール交付事業

このシールに気づいてください
あなたの支援が必要な方です

地域のみなさん



地域のみなさん

シールを身につけた方を見かけたら…

- ①ご本人の正面から優しく声をかける※1
- ②スマートフォンでQRコードを読み取る
- ③表示されたご本人情報を確認
- ④可能であれば伝言板に所在地などを入力

※1 後ろからの声かけは禁物です

QRコードの読み取り方がわからない。そんな時は?

地域のみなさん

シールに記載されている登録番号を自治体や警察にお伝えください。

認知症の人が
安心して暮らせる
まちづくりを目指して

ご家族
認知症の方へ
シールを配付しています

認知症等で見守りが必要な方へQRコードラベル・シールを配付しています(登録が必要です)。



ご家族

こんな仕組みです!

QRコードの読み取り→
ご家族へ即時通知

発見者がQRコードを読み取ると、瞬時にご家族へメールが送信されます。24時間365日やりとりが可能です。



ご家族
登録して
衣服等に貼るだけ

簡単な情報を入力し登録したら、シールを衣服や持ち物に貼って準備は完了です。



“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



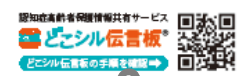
個人情報は表示されません
伝言板上でやりとりするため、氏名や住所、連絡先の記載は不要。個人情報の漏洩の心配はありません。

警察、消防等地域の見守りに役立ちます
警察や消防での保護時、QRコードラベル・シールがあることで、身元がすぐに判明。声かけのきっかけとしても役立ちます。

QRコードを読み取ると伝言板が表示され、ご本人情報の確認が可能。同時にご家族へ発見通知をメール送信。発見者と伝言板で連絡を取ることが出来るシステムです。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

お問い合わせ



皆さんは、こんな 体験 したことありませんか？

気になる方が居られるが、お声をかけるか迷ってしまう

用事を済ませて、再度、通りかかった時に居たらお声をかけよう

 本当に認知症の方なのか？間違って声をかけてしまったら。。。 

お声をかけると「大丈夫！」と 云われた

 本当に大丈夫？うのみにしても良いのか 

声をかけたあと、誰にどうやって連絡したらよいのか

 独りにできない/対応する時間があまりない 



従来の独り歩き(徘徊)対策

+ α



【これまでの対策】

- ・ 「行方不明届」による捜索（位置情報探索機器を活用）
- ・ 地域の方々を活用した取り組み
 - 各自治体における、みまもりネットワーク整備 「メール配信」「ながら見守り」

ご本人

認知症と周囲にばれたくない

目的地を忘れて困っているだけ

無事に目的地(家)に行きたい

ご家族

発見者側

この方は認知症なのか？

発見者はどう対応するの？

発見者の不安事の解消は？

認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、**地域のみまもりネットワーク活動**を推進する必要がありますが、**ご本人**や**ご家族**のお気持ちと**ご協力**いただく**市民の皆さん**が**感じている様々な心配や不安に向けての支援も重要**となります。

皆さんは、日常生活で目にしたことがありますか？



マタニティマーク

国民運動計画「健やか親子21」推進検討会において、妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保を目指し、「マタニティマーク」を発表



ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方々に配布



ハート・プラスマーク

内部障害・内臓疾患の存在を視覚的に示し、理解と協力を広げるために作成



まごころマーク

障害の部位に関係なく歩行困難な人や電車バスなどで立ち続けるのが困難な人の為のマーク



どこシル伝言板[®] も、援助を示すマーク

① どこシル伝言板® について

➤ 開発のきっかけ

2014年8月、横浜市の高齢者施設を単独外出し行方不明になった認知症高齢者男性が東京都中野区の公園で発見されたが、保護に至らず、熱中症等が原因で亡くなった事件。

⇒ 「多くの方が関わっているのに、人の多い東京なのに、なぜ？」

➤ 開発者

介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等が中心となって設計

➤ 名前の由来

「どこシル」 = 「どこ」にいるかを「知る」・「シール」

「伝言板」 = 駅改札口の“誰かと出会う為の”「伝言板」

➤ 費用 ※認知症施策運用時（下記以外に月額利用料等の別途発生はありません）

初期導入基本料	1自治体(事務局)	35,000円(税込38,500円)
ラベル・シール購入費 *10人分単位で購入可	1人分30枚	3,290円(税込 3,619円)
	1人分40枚	3,590円(税込 3,949円)
	1人分50枚	3,900円(税込 4,290円)

② どこシル伝言板[®]の特徴

どこシル伝言板は、自治体・地域住民・警察・消防・医療・介護・福祉等が担う『地域のみまもりネットワーク活動』を支援するシステムです

「発見者」→「事前に登録したご家族」にシステムを介して連絡を取ることができる

システムには一切個人情報
を使用しない

個人情報漏洩リスクは
「ゼロ」

『保護時に注意すべきこと』
が共有できる

本人・発見者・介護者の
負担軽減

災害避難時の対応支援

導入自治体を事務局として
運用

自治体による
介護者相談支援

③



どこシル伝言板® 導入自治体の状況

1都1道1府37県 313市区町村 (2024年04月30日 現在)

【参考_政令市】

- ・千葉市_全域 2018年度
- ・広島市_全域 2018年度
- ・大阪市_一部 2019年度
- ・熊本市_全域 2020年度
- ・新潟市_一部 2021年度
- ・さいたま市_全域 2021年度
- ・北九州市_全域 2022年度

【参考_中核市】

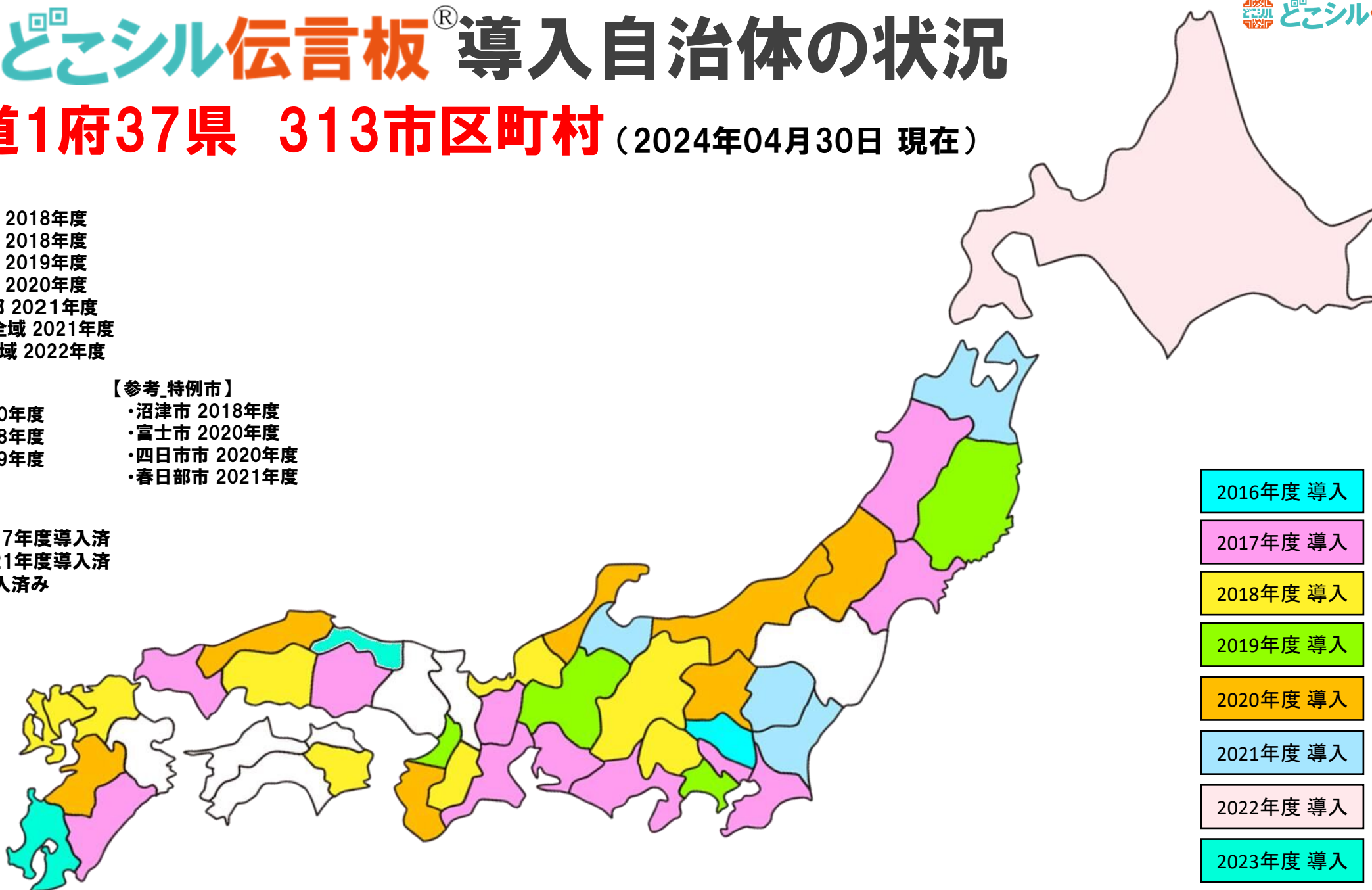
- ・岐阜市 2020年度
- ・倉敷市 2018年度
- ・宮崎市 2019年度

【参考_特例市】

- ・沼津市 2018年度
- ・富士市 2020年度
- ・四日市市 2020年度
- ・春日部市 2021年度

【東京都】

- ・小平市 2017年度導入済
- ・文京区 2021年度導入済
- 2022年度導入済み
- ・東大和市
- ・羽村市
- ・青梅市



- 2016年度 導入
- 2017年度 導入
- 2018年度 導入
- 2019年度 導入
- 2020年度 導入
- 2021年度 導入
- 2022年度 導入
- 2023年度 導入

二次元バーコード (QRコード) を活用したクラウド型インターネットサービスです

事前準備

事前準備は2段階のみ

① 個別情報を登録

- ◆ ニックネーム
- ◆ 生年月
- ◆ 性別
- ◆ 身体的特徴
- ◆ 既往症
- ◆ 保護時に注意すべきこと
- ◆ 発見通知メールアドレス (10件)

② 衣服・持ち物に貼付

ツール (ラベル・シール) の役割

※右のQRコードを読み取るとシステムに接続します



「自治体名」「自治体指定ロゴ」「QRコード」「保護対象者ID」のみ印刷



声掛けのきっかけ 保護時の初期対応



特殊詐欺の被害防止



交通事故回避



災害時の対応支援

Webシステムの役割



DB・WEBサーバ
パブリッククラウド (AWS) を使用

「発見～保護～ご帰宅」まで 安心、安全、迅速に



365日24時間いつでも迅速な連絡



申し送りの機能



情報集約
(事務局=自治体)

⑤ 登録シートの作成について

※ 開示される内容①③④⑤⑥
②⑦は登録に必要な情報(事務局閲覧)

どこシル伝言板登録シート	
どこシル伝言板で保護対象者情報登録をするための入力用にご記入ください	
記入日	年 月 日
保護対象者 ID	AA1234
① 保護対象者のニックネーム <small>※呼ばれて返事をしてもらえる愛称 ※個人情報の公開とならないよう、氏名(名字・名前 いずれも)の登録は避けてください。 例、「お父さん」「先生」等、ご自宅や職場で呼ばれて いた愛称等</small>	けんさん (AA1234)
② 生年月日(年月まで)	西暦 1931 年 2 月
③ 性別	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ <input type="radio"/> 女
④ 身体的特徴 <small>例、①身長150cm ②中肉中背 ③眼鏡使用 ※身長や体型、メガネの有無、よく身につける ものなどできるだけ詳しく記入します</small>	①身長180センチ 71キロ ②黒髪で短髪 ③肩が太く目が鋭い ④左手で杖を持っている
⑤ 既往症 例、①認知症 ②糖尿病 <small>※今までにかかった大きな病気など入力します</small>	①認知症 ②高血圧 ③狭心症(2022年8月)
⑥ 保護時に注意すべきこと <small>※発見した方へのアドバイスとなります。症状に 対する具体的な対応方法を記入します</small> 例、右耳が遠いので、左耳に話しかけてください ・「おじいさん」と話しかけると怒りやすくなる ので、「先生」と話しかけてください ・汗や震えがありましたら、低血圧の可能性が ありますので、所持している飴をなめるように 始めてください	Point 症状に対しての対応方法を ご記入ください ① 脱水にならないように必ず水かお 茶を飲ませてください ② 「奥様がお迎えに来ます」と伝える と落ち着きます ③ 比較的無口ですが、映画好きなの で、映画の話題はよく喋ります ④ 寒暖差は狭心症によくないので、 居場所の気温に注意して下さい
⑦ 発見通知メールアドレス <small>※発見時に通知を受けるメールアドレスです 迎えに行くことが可能な方を3件まで登録できます (例、主介護者、ご家族、介護支援専門員等)</small>	123456 @ docomo.ne.jp 234567 @ ezweb.ne.jp 345678 @ softbank.ne.jp

- ① 保護対象者のニックネーム(普段、外で呼ばれている呼び名)
 ご家族やご友人が普段、ご本人を読んでいる呼び名/愛称(ニックネーム)を記載してください。
 ※ 発見者がご本人を記載ニックネームでお呼びすることがございますので、読み間違いがないように平仮名等でご記載ください。
- ④ 身体的特徴
 誤って他の方の持ち物や衣類を着られる場合もございますので身長や体重、髪型等、外見からご本人と推測できるよう記載ください。また、眼鏡使用や帽子、カバン等、身に着けるものも、ご本人を特定する特徴になり、警察機関も身元特定に役立ちます。
- ⑤ 既往症
 救急搬送時、搬送先病院にて役立つ情報となりますのでこれまでにかかった病気を医療依存度の高い順に記載ください。作成日も(2022年8月)も、お忘れずに記載ください。
- ⑦ 発見通知メールアドレス
 メールにて連絡が来るので、ガラケーでも安心！
 ・キーパーソンの方
 ・医療判断ができるご親族の方
 ・ご支援者(居宅介護支援専門員/権利擁護担当者/後見・保佐・補助人)

⑤ 登録シートの作成について

※ 開示される内容①③④⑤⑥
②⑦は登録に必要な情報(事務局閲覧)

どこシル伝言板登録シート	
どこシル伝言板で保護対象者情報登録をするための入力用にご記入ください	
記入日	年 月 日
保護対象者ID	AA1234
① 保護対象者のニックネーム <small>※呼ばれて返事をもらえる愛称 ※個人情報の公開とならないよう、氏名(名字・名前 いずれも)の登録は避けてください。 例、「お父さん」「先生」等、ご自宅や職場で呼ばれて いた愛称等</small>	けんさん (AA1234)
② 生年月日(年月まで)	西暦 1931 年 2 月
③ 性別	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ <input type="radio"/> 女
④ 身体的特徴 <small>例、①身長150cm ②中肉中背 ③眼鏡使用 ※身長や体型、メガネの有無、よく身につける ものなどできるだけ詳しく記入します</small>	①身長180センチ 71キロ ②黒髪で短髪 ③肩が太く目が鋭い ④左手で杖を持っている
⑤ 既往症 例、①認知症 ②糖尿病 <small>※今までにかかった大きな病気など入力します</small>	①認知症 ②高血圧 ③狭心症
⑥ 保護時に注意すべきこと <small>※発見した方へのアドバイスとなります。症状に 対する具体的な対応方法を記入します 例、右耳が遠いので、左耳に話しかけてください ・「おじいさん」と話しかけると怒りやすくなる ので、「先生」と話しかけてください ・汗や震えがありましたら、低血圧の可能性が ありますので、所持している飴をなめるように 勧めてください</small>	Point 症状に対しての対応方法を ご記入ください ① 脱水にならないように必ず水かお 茶を飲ませてください ② 「奥様がお迎えに来ます」と伝える と落ち着きます ③ 比較的無口ですが、映画好きなの で、映画の話題はよく喋ります ④ 寒暖差は狭心症によくないので、 居場所の気温に注意して下さい
⑦ 発見通知メールアドレス <small>※発見時に通知を受けるメールアドレスです 迎えに行くことが可能な方を3件まで登録できます (例、主介護者、ご家族、介護支援専門員等)</small>	123456 @ docomo.ne.jp 234567 @ ezweb.ne.jp 345678 @ softbank.ne.jp

⑥ 保護時に注意すべきこと

発見者が声掛けや保護する際に、気を付けてもらいたいことをわかりやすく記載してください。

例)

- ・ **既往症** や **身体状況** に関すること
- ・ **コミュニケーションの取り方** に関すること
- ・ **声掛けや話題** に関すること

※ ご本人様の **正しい情報** をお伝えできます

※ **救急医療情報キット** に記載ある情報も有効です

※ **避難所** 等に避難された際にも役立ちます

次のページに
実際に登録されている内容を転記しております

【補足】「⑥保護時に注意すべきこと」記載例(1)

既往症や身体状況に関すること

- 冷や汗や意識が朦朧としている様子がありましたら低血糖の可能性がありますので、お手数ですが、ジュースやアメ等を提供して、糖分の摂取を促して下さい
- C型肝炎で感染症を持っている為、出血がある場合は素手で血液に触れる事がないよう気を付けて下さい。
- 心臓ペースメーカー使用しています。
- てんかん症があり、通常は1分程度で回復します。
- 月、水、金は人工透析です。
- 気管支喘息があるので、吸入器を所持しているときは、(喘鳴があるとき)本人に吸入させて下さい。
- 足がもつれることがあるので、倒れないように支えて歩行して下さい。
- 歩き疲れると足が前に出なくなり、姿勢がそっくり返ってきます。身体のバランスが崩れてくるので傍にある物につかまらせて下さい。
- 失語症の為、言葉が理解しにくいのでゆっくり、短く話して下さい。

コミュニケーションの取り方に関すること

- 話をしてもすぐ忘れるので、必要なときは何回も繰り返し説明して下さい。
- 受け答えはできるのでしっかりしているように見えますが、理解はあまりできていません。
- 左耳が聞こえにくいので、右耳で話しかけて下さい。
- 音や光に驚きますので、大きな声で話しかけないようにして下さい。
- しつこく言ったり怒ったりすると言うことを聞かない。
- 触っただけでも怒ることがある。
- なれなれしく触ると怒る可能性がある。
- プライドは高いので、言葉遣いには配慮する。
- 行動を遮ると怒り出すので、歩行が止まった時に話しかけて下さい。
- 奥様の話をすると感情的になるので、しないで下さい。

【補足】「⑥保護時に注意すべきこと」記載例(2)

声掛けや話題に関すること

- ・「息子さんと娘さんに連絡しますので安心して下さい」と伝えて下さい。
 - ・ かるうじて妻は認識できるようなので「奥さんの所に行こう」と声を掛けて頂けると比較的素直に動くと思われ
ます。
 - ・ お父さんが迎えに来るから、と安心させて下さい。
 - ・ 「〇〇子さん(奥様の名前)の知り合いです」と言って
下さい。
 - ・ 以前住んでいた〇町、▲町、★町の話をして下さい。
 - ・ 猫の名前(〇〇ちゃん ▲▲ちゃん)を伝えると安心し
ます。
 - ・ 気分が落ち込んでいるときは、ラグビーの話か、犬(名
前=〇〇、▲▲)の話をするとうるくなります。
 - ・ 「魚釣り」の話をするとうってくる。
 - ・ 紙に漢字や絵で表示して下さい。
 - ・ 「仕事がありますので失礼します」と言って逃げようとする
ので、「仕事場(建築関係・現場)に案内します」の様
に声を掛けて頂けると良いかと思ひます。
 - ・ 場所がわからないと思われたくない為、『どちらに行く
途中ですか?』と話しかけて下さい。
 - ・ 知らない場所や男性からの声かけに萎縮してしまうこ
とがある。
 - ・ むいぐるみは子供のような存在なので、子供のように
話しかけてあげて下さい。
 - ・ 仕事道具のかなづちやスケール等を持つてゐる時があ
る。
 - ・ 実家へ行ってみたいと思ひはじめて行動をするので、
今は解体して存在しないことを説明すること。
- ・ 〇〇市に住んでいるが、生まれた▲▲区というかもしれ
ません。

救急災害時における **どこシル伝言板®** の活用

【状況に関する障害】

- ・ 人的対応が困難な場合がある
- ・ 避難所には数多くの人が集まり、ストレスがかかりやすい環境に陥る
- ・ 災害時には「電話<Web」となることが多い



ご本人の安全・安楽に資する情報

※家族等の介護者以外でも、ご本人に接する際やケアをする際の手助けとなる情報。既往症、身体状況、対応、コミュニケーションに関する情報等が必要。

◆ QRコード'を読取ることで誰でも確認できる



- ◆ ご家族等との連絡に人的仲介を必要としない
- ◆ Webを活用したサービスである
- ◆ 総務省の強靱化計画に対応
- ◆ 視認性と高い耐久性を有するツールを使用
- ◆ 居住自治体はすぐに確認できる

事前準備は

どこシル伝言板登録シート	
どこシル伝言板で保護対象者情報登録するための入力用紙にご記入ください	
記入日	年 月 日
伝言板番号	AA1234
◎ 保護対象者のニックネーム <small>◎ 呼称として登録していただく名称 ◎ 個人情報等のご記載はご遠慮ください。氏名/名字、名前いずれかの登録は行ってください。 例「あつさん」「先生」等、ご自宅や職場で呼ばれていた愛称等</small>	けんさん (AA1234)
◎ 生年月日(年月まで)	西暦 1931 年 2 月
◎ 性別	男 ・ 女
◎ 身体的特徴 <small>例 ◎ 身長170cm ◎ 中央やや左 ◎ 腰痛 ◎ 身長や体重、メタボの有無、よく身につけるものなどを記載の付録に記入します</small>	①身長180センチ 71キロ ②高髪で短髪 ③肩が太く目が鋭い ④左手で杖を持っている
◎ 既往症 例 ◎ 認知症 ◎ 糖尿病 <small>◎ 今までのかかった病気も併せて記入します</small>	①認知症 ②高血圧 ③狭心症
◎ 保護時に注意すべきこと <small>◎ 緊急時以外でも同意書が有効です ◎ 記入ください</small>	① 服装にちなみ「お名前」をお知らせください ② 「名前が間違っています」と伝える時も構いません ③ 比較的口元ですが、顔面が暗いので、服の襟元をよく確認してください ④ 高血圧は慢性的なもので、緊張すると高くなるので、緊張時の気圧に注意して下さい
◎ 発見通知メールアドレス <small>◎ 発見時に連絡を受けたいメールアドレスです ※記入してくださいが同意書は別紙とさせていただきます 例 主介護者、ご家族、介護支援専門員等</small>	123456 @ docomo.ne.jp 234567 @ etweb.ne.jp 345678 @ softbank.ne.jp

「保護時に注意すべきこと」に

- ・ かかりつけ医のお名前
 - ・ お薬情報
 - ・ アレルギー情報
- 等々を記載するのみ

※ お薬については
血液をサラサラにして
くれるお薬等の記載を
救急隊よりご希望あり

⑥ ラベル・シールについて ～貼付方法～

耐洗ラベル

アイロン
熱圧着



蓄光シール

シール
貼付



耐洗ラベルは必ず「**アイロンで熱圧着して使用**」します。

アイロンを**高温・スチーム無し**に設定し、**10～15秒程強く押さえつける**ようにして下さい。

きちんと貼付すると**200～300回程度**は家庭で洗濯機や乾燥機にかけても使用可能です。

蓄光シールは**貼付面をきれいに拭き取って**から使用して下さい。

(※同封の**透明カバーフィルムを重ね貼り**して下さい)

樹脂製のシールですので、固いもので傷つけたりすることがあるので、**QRコードが破れた場合は新しいシールを貼り直して**下さい。

※注意事項※

耐洗ラベルは丈夫ですが非常に薄いので、直接縫い付けることは避けて下さい。
またニット等に貼付する場合は、一旦一回り大きな薄手の布に熱圧着してから、縫い付けて下さい。

⑥ ラベル・シールについて ～貼付箇所～

★まずは

身(内)に着ける ところから。



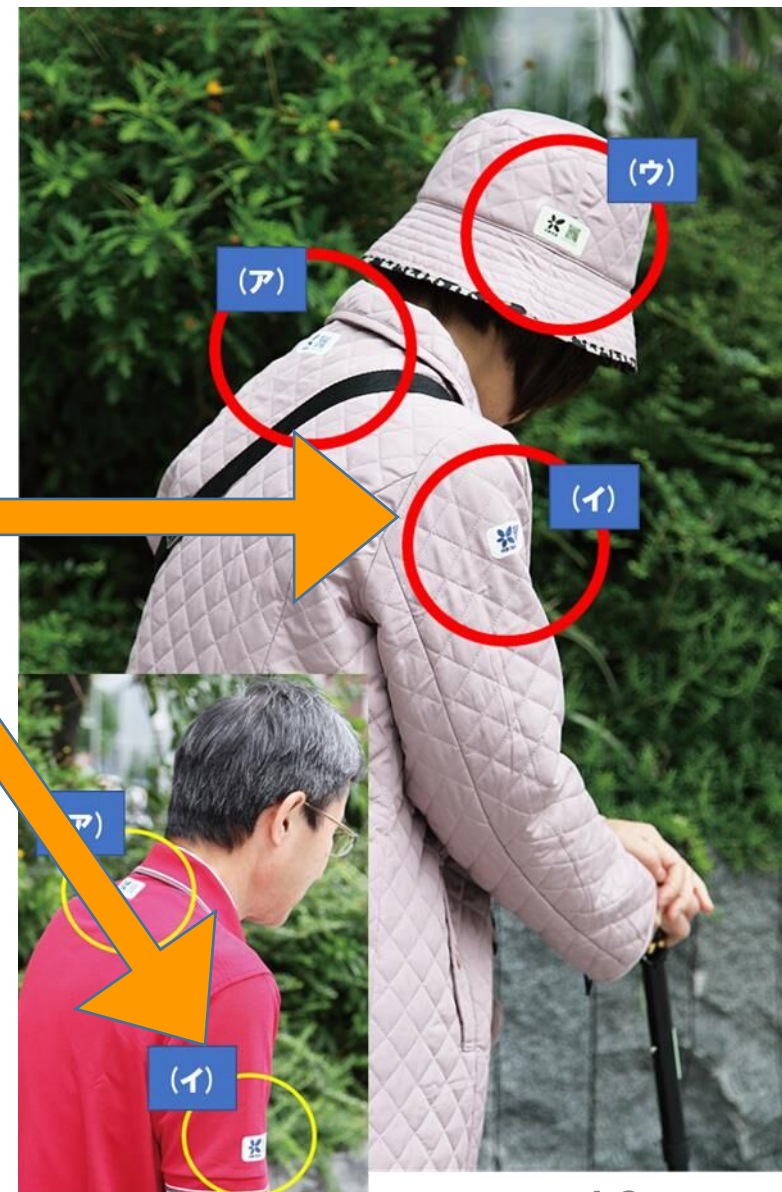
★早く発見して欲しい人は

右写真のように「外側」にも貼付すると、より早い発見に繋がります。

★右写真の例を参考に、

(ア) 背中上部、
(イ) 右腕上腕部、
(ウ) 帽子の右側 等

に貼付して下さい。



★貼付のポイントは、

- (1) **発見者がQRコードを読み取る時、ご本人が警戒しない箇所**
=ご本人の衣服の上衣前面に貼付することはできるだけ避ける
- (2) **発見者の視界に入りやすい箇所**
=ご本人の衣服の下衣、靴等はできるだけ避ける
- (3) **いつでも持ち歩いているもの**
=杖等の歩行に使用する器具や帽子等

⑦ 保護 → QRコード読み取り → 通知

デモ用QR



発見者

どこシル伝言板
QRコードを読み取って頂き、ありがとうございます。

ご協力をお願いします

どこシル伝言板®はラベルシールに表記された市区町村が運営する見守り支援サービスです。本サービスにより、ご家族様と連絡が取れますので以下の内容をご確認頂き「現在の居場所」「健康状態」をご入力ください。ご入力後送信ボタンを押して頂くと、ご家族様のもとに情報が届きます。

個人基本情報
ニックネーム: 先生
性別: 女
身体的特徴:
① 毛髪はグレーでショートカット
② 顔に傷跡あり
③ 歯が黒く、歯茎が赤い
④ 髪が長い
⑤ 髪が短い
⑥ 髪が長い
⑦ 髪が短い
⑧ 髪が長い
⑨ 髪が短い
⑩ 髪が長い
⑪ 髪が短い
⑫ 髪が長い
⑬ 髪が短い
⑭ 髪が長い
⑮ 髪が短い
⑯ 髪が長い
⑰ 髪が短い
⑱ 髪が長い
⑲ 髪が短い
⑳ 髪が長い
㉑ 髪が短い
㉒ 髪が長い
㉓ 髪が短い
㉔ 髪が長い
㉕ 髪が短い
㉖ 髪が長い
㉗ 髪が短い
㉘ 髪が長い
㉙ 髪が短い
㉚ 髪が長い
㉛ 髪が短い
㉜ 髪が長い
㉝ 髪が短い
㉞ 髪が長い
㉟ 髪が短い
㊱ 髪が長い
㊲ 髪が短い
㊳ 髪が長い
㊴ 髪が短い
㊵ 髪が長い
㊶ 髪が短い
㊷ 髪が長い
㊸ 髪が短い
㊹ 髪が長い
㊺ 髪が短い
㊻ 髪が長い
㊼ 髪が短い
㊽ 髪が長い
㊾ 髪が短い
㊿ 髪が長い

既往症:
① 糖尿病
② 高血圧
③ 脂質異常症
④ 脳血管疾患
⑤ 心臓病
⑥ 腎臓病
⑦ 肝臓病
⑧ 胆石症
⑨ 膵臓病
⑩ 膵臓癌
⑪ 膵臓がん
⑫ 膵臓腫瘍
⑬ 膵臓炎
⑭ 膵臓憩室
⑮ 膵臓嚢腫
⑯ 膵臓嚢腫瘍
⑰ 膵臓嚢腫瘍
⑱ 膵臓嚢腫瘍
⑲ 膵臓嚢腫瘍
⑳ 膵臓嚢腫瘍
㉑ 膵臓嚢腫瘍
㉒ 膵臓嚢腫瘍
㉓ 膵臓嚢腫瘍
㉔ 膵臓嚢腫瘍
㉕ 膵臓嚢腫瘍
㉖ 膵臓嚢腫瘍
㉗ 膵臓嚢腫瘍
㉘ 膵臓嚢腫瘍
㉙ 膵臓嚢腫瘍
㉚ 膵臓嚢腫瘍
㉛ 膵臓嚢腫瘍
㉜ 膵臓嚢腫瘍
㉝ 膵臓嚢腫瘍
㉞ 膵臓嚢腫瘍
㉟ 膵臓嚢腫瘍
㊱ 膵臓嚢腫瘍
㊲ 膵臓嚢腫瘍
㊳ 膵臓嚢腫瘍
㊴ 膵臓嚢腫瘍
㊵ 膵臓嚢腫瘍
㊶ 膵臓嚢腫瘍
㊷ 膵臓嚢腫瘍
㊸ 膵臓嚢腫瘍
㊹ 膵臓嚢腫瘍
㊺ 膵臓嚢腫瘍
㊻ 膵臓嚢腫瘍
㊼ 膵臓嚢腫瘍
㊽ 膵臓嚢腫瘍
㊾ 膵臓嚢腫瘍
㊿ 膵臓嚢腫瘍

現在の居場所:
健康状態:
選択して下さい

連絡先電話番号:
公的機関の場合のみ入力

その他(最大210文字):

送信

(C)TOHO HOLDINGS CO.,LTD.

※読み取りに使用した端末の情報は一切記録されません

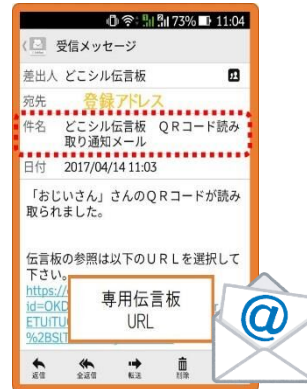
どこシル伝言板
QRコードを読み取って頂き、ありがとうございます。

ご協力をお願いします

どこシル伝言板®はラベルシールに表記された市区町村が運営する見守り支援サービスです。本サービスにより、ご家族様と連絡が取れますので以下の内容をご確認頂き「現在の居場所」「健康状態」をご入力ください。ご入力後送信ボタンを押して頂くと、ご家族様のもとに情報が届きます。

※ QRコードを読み取ると「ご協力をお願いします」と表示され、発見者の協力を促すアナウンス。

《1通目のメール》
発見者がQRコードを読み取るだけで自動的に保護者には「QRコード読み取り通知メール」が届きます



ご協力をお願いします

発見情報
以下の項目に情報を入力して送信してください

現在の居場所:
東京駅 八重洲南口 バスチケット売場

健康状態:
異常なし

連絡先電話番号:
03-1234-5678

その他(最大210文字):
〇〇警察署 △△交番のxxです。茶色のジャケットに黒いパンツの方を保護しています。

送信

ご協力をお願いします

発見情報
以下の項目に情報を入力して送信してください

現在の居場所:
〇〇総合病院

健康状態:
ケガをしている

連絡先電話番号:
03-0123-4567

その他(最大210文字):
119番通報あり、救急搬送し〇〇病院に居ますので、ご連絡ください。

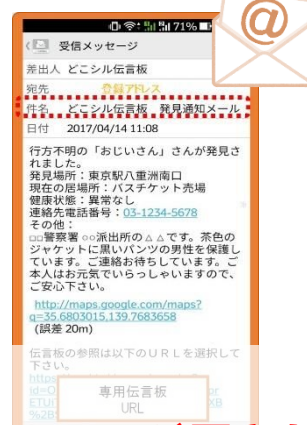
送信

《2通目のメール》
発見者が発見情報の入力・送信することで「発見通知メール」が届きます

※発見者は発見情報送信後、自動的に伝言板に遷移します



保護者(介護者)

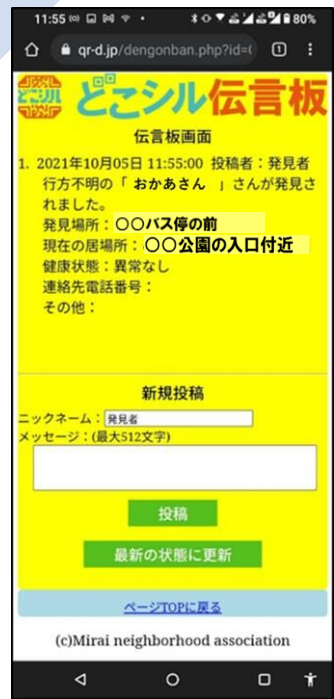
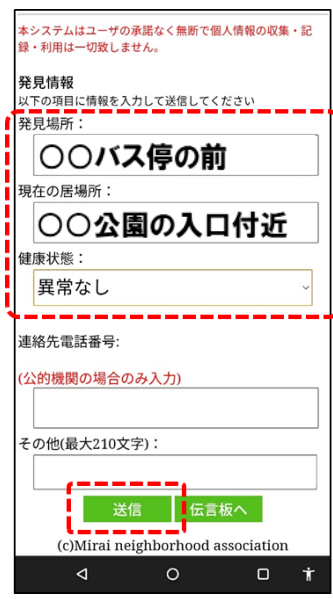
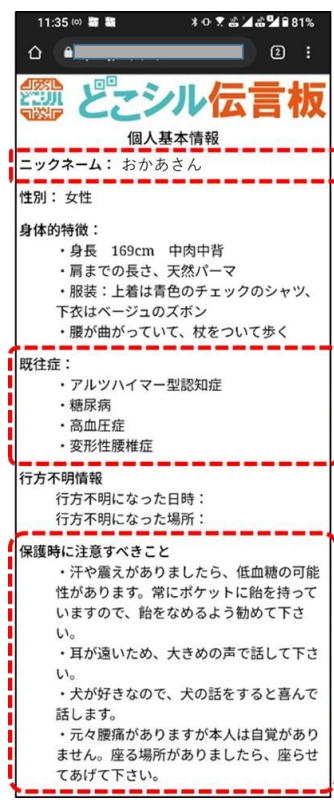


⑧ 8 どこシル伝言板[®]の使い方(スマートフォンが有る場合)

最も大切なことは、「まず、誰かがお声掛けして、足を止めて頂き、安全を確保すること」です。



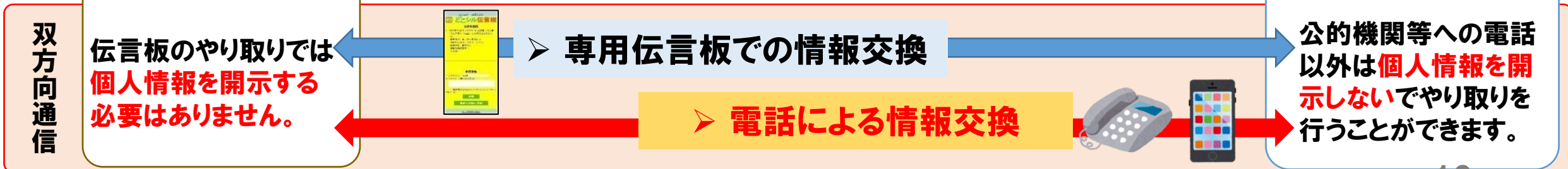
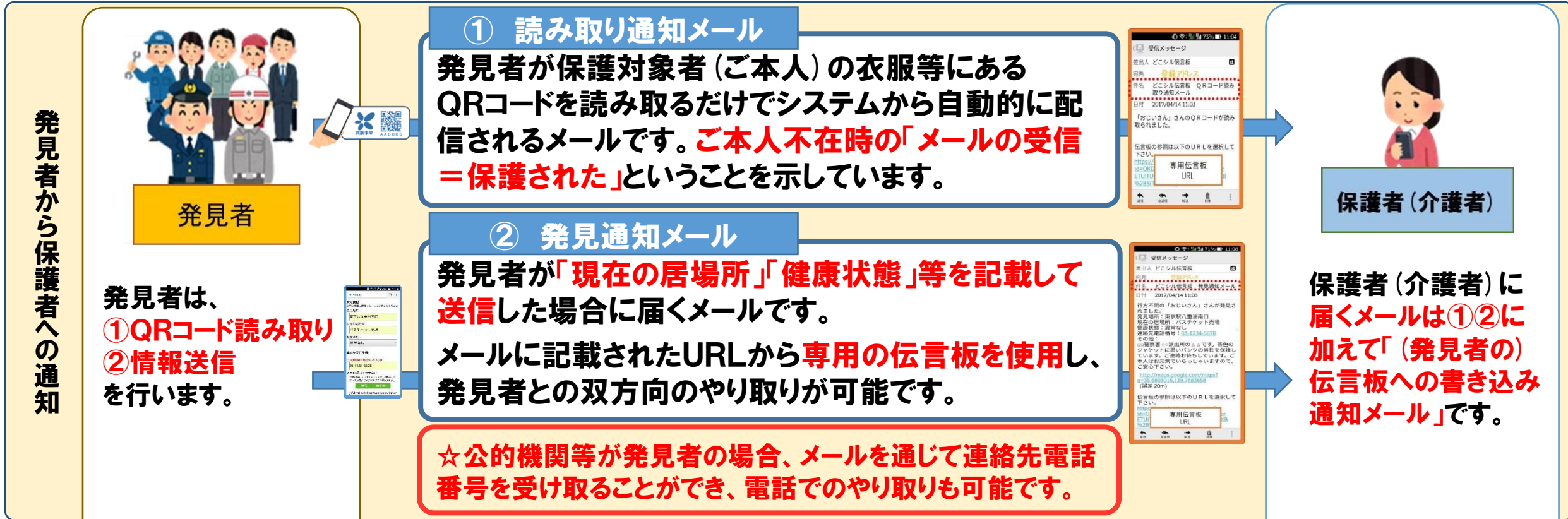
- ① 顔を見ながら、「一人」がお声掛け
- ② けが等がないかどうかを確認
- ③ 質問を重ねて急かさない
- ④ QR読取は「お声掛け」してから
- ⑤ 対応に不安な時は周りの方に協力を依頼



対応するときは、「ご本人から目を離さず、一人にして不安にさせないように」しましょう。

9-1 どこシル伝言板[®]の特徴：詳細(1)

「発見者」→「事前に登録したご家族」にシステムを介して連絡を取ることができる



⑨-2. 警察や救急での運用例

① QRコード読み取り



※読み取りに使用した端末の情報は一切記録されません

② 必要情報確認

開示される「既往症」や「保護時に注意すべきこと」の情報は、ご本人の安全・安楽の確保を支援します

https://

とこシル伝言板

個人基本情報
ニックネーム：おじいさん

性別：男性

身体的特徴：
(1) 毛髪は無し
(2) 身長が高い
(3) 杖をついている

既往症：
(1) 認知症
(2) 糖尿病
(3) 高血圧

行方不明情報
行方不明になった日時：
行方不明になった場所：

保護時に注意すべきこと
(1) 耳が遠いので、大きな声でお話する必要があります
その際、「おじいさん」と呼びかけてください
(2) 糖尿病のため、低血糖を起す
可能性がありますので、冷や汗や震えがあったら缶ジュース等を飲ませてください

本システムはユーザーの承諾なく無断で個人情報の収集・記録・利用は一切致しません。

発見情報
以下の項目に情報を入力して送信してください

発見場所：
東京駅八重洲南口

現在の居場所：
〇〇警察署

健康状態：
異常なし

連絡先電話番号：
(公的機関の場合のみ入力)
03-1234-5678

その他(最大210文字)：
警察署 〇〇派出所の△△です。茶色のジャケットに黒い帽子の男性を保護していま

送信 伝言板へ

(c)Mirai neighborhood association



https://

発見情報
以下の項目に情報を入力して送信してください

発見場所：
東京駅八重洲南口

現在の居場所：
〇〇警察署

健康状態：
異常なし

連絡先電話番号：
(公的機関の場合のみ入力)
03-1234-5678

その他(最大210文字)：
警察署 〇〇派出所の△△です。茶色のジャケットに黒い帽子の男性を保護していま

送信 伝言板へ

(c)Mirai neighborhood association

https://

発見情報
以下の項目に情報を入力して送信してください

発見場所：
東京駅八重洲南口

現在の居場所：
〇〇総合病院

健康状態：
ケガをしている

連絡先電話番号：
(公的機関の場合のみ入力)
03-0123-4567

その他(最大210文字)：
消防署救急隊です。△△市のAA0005番のシールをつけた男性が倒れ意識不明の疑いがあるた

送信 伝言板へ

(c)Mirai neighborhood association

③ 現在の居場所欄に「警察署」や「搬送された医療機関名」等を記載
※警察署や医療機関に移動していない場合は、現在の居場所をわかりやすく記載

④ 連絡先電話番号欄に警察署や医療機関の窓口等の電話番号を記載

⑤ その他欄には電話を入れた際にどのように伝えればよいか等の指示事項を簡単に記載

⑥ 送信ボタンをクリック

※ご家族等から入電した際に警察署や医療機関等でもわかるように情報の共有をお願い致します。

⑨-3 どこシル伝言板®の特徴：詳細(2)

システムには一切個人情報を使用しない

個人情報漏洩リスクは「ゼロ」

『保護時に注意すべきこと』が共有できる

本人・発見者・介護者の負担軽減

災害避難時の対応支援



【システム上の登録情報】
 「※ニックネーム」、「生年月」、「※性別」、「※身体的特徴」、「※既往症」、「※保護時に注意すべきこと」、「発見通知メールアドレス(3件)」
QRコード読み取り時には※印の情報のみ発見者に開示されます。

【ラベル・シール記載情報】
 「自治体名」、「自治体指定ロゴ」、「QRコード」、「保護対象者ID」

- 発見者が保護対象者に対応する場合、「既往症」に起因する身体的リスクや「保護時に注意すべきこと」を情報として得られることは、発見者・保護対象者双方の負担軽減に繋がります。
- 保護対象者の身体的・精神的な負担が少なく、比較的穏やかな状態で帰宅できることは、介護者にとっての負担軽減にも繋がります。
- 万が一、災害発生時に避難所等での生活をする場合、様々なストレスは認知症等のBPSDや体調の変化に繋がります。保護対象者の「既往症」や「保護時に注意すべきこと」の情報は、本人だけでなく周囲の負担軽減にも繋がります。

⑨-4 どしる伝言板[®]の特徴：詳細(3)

導入自治体を事務局として運用

導入自治体様では、
「所管部署」や
「地域包括支援センター」が
事務局となっています。



クラウド・サーバを通じて、すべての利用情報は事務局に共有されます。



発見者



介護者

自治体による介護者相談支援

認知症高齢者等の行方不明は、生命に係わる非常に危険な状況である為、介護者にとって非常に大きな不安や負担になります。

例 「初めて行方が分からなくなった」
「頻回に行方が分からなくなる」
「非常に時間がかかって保護された」等

これまで介護者支援の取り組みを行っている自治体所管部署等に、行方不明になったことや保護負担が増大している状況が必ずしも伝わっていたわけではありません。

どしる伝言板では、システム上の事務局を自治体所管部署等が担う為、すべてのシステム利用情報が共有・集計されることとなります。
この情報に基づき、保護対象者や介護者に対して適時・適切に相談支援を行うことが可能となります。

【参考】

保護対象者が発見されたら 伝言板のやり取り→お迎え

保護対象者が発見されると
瞬時に登録先アドレス10件
+ 事務局にメールが届き

「発見者」「保護者(家族)」
双方の連絡先を開示せず
お迎えまで伝言板を使用し
やり取りができます。

また、警察・消防・病院
市役所等々の公的機関の
場合は連絡先(電話番号)を
示すことで、直接、電話
でのやり取りも可能となり
ます。

※ 2022年3月より
登録できるアドレス
3件 ⇒ 10件へと変更

発見後は
背景が
黄色

1
メール

保護対象者が発見され、QR
コードが読み取られると、瞬時
にご家族へメールが送られます

2
メール

発見者が発見情報を入力・送
信すると、メールが届きます。
URLを押して伝言板へ

3
伝言板

発見者への連絡は新規投稿欄の
メッセージに伝達事項を入力し
投稿します。発見後は背景色が
黄色になります

4
メール

発見者からの連絡ごとにもメール
が届きます。お迎えまで伝言板
でやり取りします

5
伝言板

情報をもとに、待ち合わせ場所
に行き、お迎えが完了。お互いに
連絡先を開示せず、やり取りが
できるので安心です

6
伝言板

保護対象者が戻られたことを
投稿して完了です。引き続き、
P4の伝言板の消去を行います

⑩.CM・介護関係の皆様にご支援頂きたいこと

登録内容 の作成

- ・ 個人情報的一切含まない内容
- ・ 「既往症」「保護時に注意すべきこと」

貼付支援

- ・ 「右側」「背面」「本人の気にならない箇所」
- ・ 季節変わりの衣替え時にお声掛け

啓発活動

- ・ 事業所内・サービス担当者会議等での情報共有
- ・ 事業所内・関係者へのポスター・チラシの貼付・配布

11-1 活用事例(1)

例①：千葉県松戸市	どこシル伝言板システムを使ってご家族と連絡できた事例①
<p>市外在住の方が松戸市内に来られた時、同じ場所を行ったり来たりしている高齢の女性を発見。システムについてはご存じなかったが、ラベル・シールに気づき、QRコードがあったのでご自身のスマートフォンで読み取りして下さったとのこと。その高齢女性の状況を知ることができた上に、伝言板でご家族と連絡もできたので、ご家族のお迎えもスムーズに進んで、ご帰宅に繋がったそうです。※当該利用者は過去5回ほど同様の保護に繋がったとの報告あり。</p> <p>参照：BBC NEWS Are barcodes the way to protect dementia patients? https://www.bbc.com/news/business-48227747</p>	
例②：静岡県 A町	どこシル伝言板システムを使ってご家族と連絡できた事例②
<p>3か月の間にどこシル伝言板を使用して7回保護された方がいらっしゃいました。すべての利用においてすぐにご家族と連絡が取れ、無事ご帰宅されています。（※現在はご家族の介護負担が大きくなったこともあり、一時的に施設入所されているとのこと。）</p>	
例③：千葉県 B市	警察への周知により、早期に解決できた事例
<p>日曜日に市民の方が保護して、警察に通報。事前に周知されていた警察署で、どこシル伝言板利用者であることが確認され、ご家族が無事お迎えとなりました。（※他自治体【※静岡県 C市・D市等を中心に近隣導入が進んでいるエリア】でも、保護された後に警察署や派出所でQRコードを読み取り、警察署等の連絡先を記載してやり取りを行い、無事に解決した事例が複数確認されています。）</p>	
例④：千葉県 B市	ラベル・シールが発見のきっかけになった事例
<p>ラベル・シールを貼っている方の異変に気付いた市民の方が、声をかけて下さいました。ご対応中にご家族が通りかかり、その場でご本人を確認できたとのこと。ご家族によると「周囲が騒がしくなり確認すると、自分の親が声をかけられていた。衣服に貼っていたラベル・シールが目印となってたようで、行方不明にならずに良かった。」とのことでした。（※他の自治体【※埼玉県 E町】では、靴のかかるとに貼ったシールがズボンの裾で隠れていた為、保護されたときに気付いてもらえなかったという事例もあったとのこと。）</p>	
例⑤：埼玉県 F町 他	防災無線使用時の情報提供活用例
<p>行方不明時に防災無線で「衣服の袖にQRコードラベルの付いている男性」として市民に呼び掛け、発見の為の目印としています。</p>	
例⑥：静岡県 D市	防災訓練を通じた啓発活動例
<p>防災訓練内で災害弱者になり得る認知症高齢者の方への接し方を学びながら、QRコード読み取りの実体験を通じてこのシステムや取り組みの理解を深めることができました。</p>	

11-2 活用事例(2)

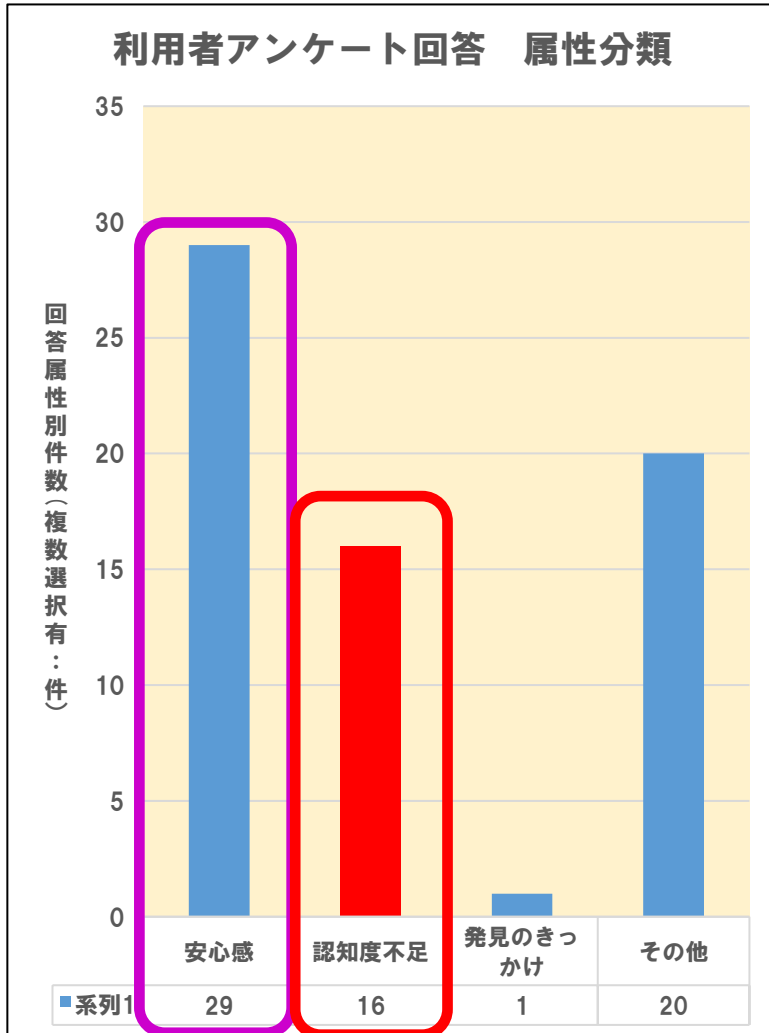
例⑦：全国16市町(昨年実績)	模擬訓練を通じた啓発活動
それまでの搜索型模擬訓練ではなく、声掛け訓練の実施を通じて認知症高齢者の方への理解を深め、日常生活で起こり得る認知症高齢者の方の保護の流れやどこシル伝言板の使用を実体験するように取り組んでいます。	
例⑧：宮城県 G市 他	認知症サポーター養成講座を通じた啓発活動
行政主催で実施している認知症サポーター養成講座では必ずどこシル伝言板の仕組みについて情報提供しています。日常生活の場でこのラベル・シールを衣服等に貼っている方を見かけたら、講座で学んだようにやさしくお声掛けして対応してほしいと伝えています。	
例⑨：愛知県 H市	遠方での保護事例①
名古屋駅に移動し、新幹線下りに乗って単独外出された方が滋賀県米原市の米原駅にて保護。米原市ではどこシル伝言板未導入であったが、所轄の警察よりラベルに記載された「自治体名」の情報をきっかけに管轄警察署に連絡が取られ、無事にご家族に連絡を取ることができた。	
例⑩：愛知県 H市	緊急搬送時の早期対応事例
コンビニで体調不良により倒れ、救急車にて病院に搬送されたが、どこシル伝言板のラベル貼付に気付いた方の対応でご家族に連絡を取ることができた。	
例⑪：秋田県 I市	遠方での保護事例②
<p>JR大館駅より電車に乗車し単独外出された方がJR弘前駅で下車、駅前広場にて一人たたずんでいるところを所轄の警察により保護。ご本人に住所等聞くも、わからないとの返答のみあり、ラベルQRコードを読み取り、無事にご家族に連絡をとることができた。</p> <p>※ 当初は車を使い単独外出。免許証を返納後は電車やバスといった公共交通機関を利用しながらの単独外出に手段が変わる。</p> <p>※ 本件、NHK秋田放送局にて放映、放映後反響もあり東北全土・日本全国にて放映されました。</p>	
例⑫：広島県 J市	どこシル伝言板システムを使ってご家族と連絡できた事例③
夜、市民の方が公園にて怪我をしている方を発見。よく見ると衣服にラベル・シールがあり、どこシル伝言板と気づき、伝言板を使い家族に連絡。また、110番通報も同時に行い、「警察の方が来られた」「広島〇〇警察署に居るので連絡ください」と状況を伝言板にて家族に伝えられ、ご家族のお迎えもスムーズに進んで、ご帰宅に繋がった。	

⑫ 啓発活動の重要性について

2020年度導入自治体

利用者アンケート（被験者85名／回答数64件）

この結果は導入初年度の自治体（市）において実施されたアンケート調査に基づいております。



1. 約45%は利用による「安心感」を回答

2. 約25%は「認知度不足・周知啓発不足」を回答
 （1.の約55%の方が「認知度不足」を感じていると回答）

▶ 「発見のきっかけ」=ラベル貼付を目印として警察に保護された事例

▶ 「その他」=《特段の回答なし、見守りシール以外への回答 等》

当該自治体においては、**導入初期の新聞掲載・TV放送に加え、市広報紙、市HPにも記載**している。個人賠償保険の併用も相俟って、**登録利用者数は運用開始10か月ほどで概ね100名近くなっていますが、市民への認知度不足を強く課題として感じておられ、解消するための取り組みが今後の注力事項である**とご認識されていらっしゃいます。

⑫ 啓発活動のポイント

	<h2>③ 一般市民様向け</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞・TV・CATV・SNS等のメディア ・ ポスター・チラシの掲示・配布 ・ 市区町村関連施設 ・ 医療機関・薬局 ・ 公共交通機関 ・ 自治会回覧板・掲示板 ・ 模擬訓練・認知症サポーター養成講座 ・ 市区町村内中学校・高等学校・大学・専門学校 等
	<h2>② 関係者様向け</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入説明会 ・ 事業者連絡会（居宅介護支援事業者・各種介護事業者） ・ 民生委員・児童委員会 ・ 医師会・薬剤師会・看護協会 ・ 見守りネットワーク参画法人・団体 等
	<h2>① 利用者様向け</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市区町村広報紙掲載 市区町村HP掲載 ・ 認知症ケアバス掲載 等

利用者アンケートでも明らかのように、③一般市民様向けの啓発活動が特に重要となります。

①利用者様に向けての情報発信はあくまでも『必要とされる方への啓発周知』を目的としたものである為、必ずしも②関係者様や③一般市民様への啓発周知には繋がらないことを前提に、上図①②③のすべての取り組みを『単発的にならない』様に、『継続的・定期的』に進めていかなければなりません。

また、これまでのように地域の中高年層の方に届く情報発信に加え、学生等の若年層にも幅広く啓発活動を進めることが必要です。

近隣住民向け周知ポスター

市民向けご案内チラシ

共創未来

見守りシール交付事業

このシールに気づいてください
あなたの支援が必要な方です

地域のみなさん

共創未来 AA0005

認知症の方へシールを配付しています

認知症等で見守りが必要な方へQRコードラベルシールを配付しています(登録が必要です)。

ご家族

安心して暮らせる
まちづくりを目指して

こんな仕組みです！

QRコードの読み取り→家族へ即時通知

発見者がQRコードを読み取ると、同時にご家族へメールが送信されます。24時間365日やりとりが可能です。

ご家族

登録して衣服等に貼るだけ

簡単な情報を入力し登録したらシールを衣服や持ち物に貼って準備は完了です。

ご家族

シールを身につけた方を見かけたら…

- ご本人の正面から優しく声をかける。
- スマートフォンでQRコードを読み取る
- 表示されたご本人情報を確認
- 可能であれば伝言板に現在地などを入力

※1 驚くからの声かけは禁物です

QRコードの読み取り方がわからない、そんな時は？

地域のみなさん

シールに記載されている登録番号を自治体や警察にお伝えください

“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に

大変！おばあちゃんがなくなった！

何かお困りの様子…衣服のQRコードにアクセスしてみよう

発見

伝言板にアクセス

おばあちゃんがみつかった！

自動メール受信

24時間365日 最早ご連絡が取れる！

個人情報情報は表示されません。伝言板上でやりとりするため、氏名や住所、連絡先の記載は不要。個人情報等の漏洩の心配はありません。

警察、消防等地域の見守りに役立ちます。警察や消防での保護時、QRコードラベルシールがあることで、身元がすぐに判明し、声かけのきっかけとしても役立ちます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

お問い合わせ

認知症高齢者保護情報共有サービス
どこシル伝言板
どこシル伝言板の手帳型も販売中

共創未来 どこシル伝言板

見守りシール交付事業

どこシル伝言板とは？

大変！おばあちゃんがなくなった！

何かお困りの様子…衣服のQRコードにアクセスしてみよう

発見

伝言板にアクセス

おばあちゃんがみつかった！

自動メール受信

24時間365日 最早ご連絡が取れる！

認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ「保護中に発見通知メールが届きます」。発見者はQRコードを読み取ることで、ニックネームや注意すべきことなど対処方法がわかるので安心です。チャット形式の伝言板だからやりとりは簡単。お迎えまで迅速に行えます。

どこシル伝言板の特徴

読み取りと発見者の手順を確認できます

準備はこれだけ

- スマホのメールアドレスを用意する
- 登録シートの記入
- ラベルシールの貼付け

24時間365日OK

夜間も伝言板を通じてやりとりが可能。登録した方へ同時に発見通知メールが届きます。

声かけをしやすく

ラベルシールを貼っておくことで、発見者が声をかけるときに気づかれます。

個人情報の記載不要

氏名・住所・連絡先の記載は不要なので安心です。

耐洗ラベル(アイロン可のもの)

濡れタオルで洗っても大丈夫

背元 襟元

バッグ(内側)

バッグ(内側)

ナイロン素材

杖

お問合わせ

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

どこシル伝言板 登録から行方不明→保護→ご帰宅までの流れ

- 事前受付 初期登録
- ラベルシール 貼付け
- QRコード 読取
- 読取通知 メール受信
- 情報の確認 現在地入力
- 発見通知 メール受信
- 伝言板でやりとり
- お迎え～ご帰宅

行方不明→保護

事務局も受信

事務局も受信

登録シートが重要！

既住症や保護時に注意すべきことを詳細に記入しておくことで、発見者がご本人に接する際の手助けとなります。ケアマネジャーに相談しながら、適切な情報を記入しましょう。

2024.11.17

地域の認知症高齢者見守り活動等をご支援する為、「啓発用ポスター・チラシデータのご提供」及び「自治体内の医療機関・調剤薬局・ドラッグストアへのポスター掲示依頼やチラシ配布」、「地域での保護模擬訓練の運営協力」等を行っております。

共創未来グループによる啓発活動の支援

共創未来 **どこシル伝言板®** 動画で確認

おでかけ見守りシール (由利本荘市 認知症高齢者等見守り事業)

どこシル伝言板®とは?

大家! おばあちゃんが
いなくなった!
何かお困りの様子...
衣服のQRコードに
アクセスしてみよう
おばあちゃんが
みつかった!
ご家族

洋服等に専用の
QRコードラベルを
貼付けておく
発信者
伝言板に
アクセス
この画面は保護者と
発見者のみが見ることが
できます
自動メール受信
24時間 365日
遅早く連絡が取れる!

認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ**随時**に発見通知メールが届きます。発見者はQRコードを読み取ると、ニックネームや注意すべきことなど**対処方法**がわかるので安心です。チャット形式の伝言板だからやりとりは簡単。お迎えまで迅速に行えます。

どこシル伝言板®の特徴 読み取ると発見者の
手順を確認できます

準備はこれだけ

1. スマホのメールアドレスを用意する
2. 登録シートの記入
3. ラベルシールの貼付け

耐洗ラベル(アイロンで貼り付けられるもの)

耐洗ラベル
衣服等にアイロンで貼付けます

蓄光シール(アイロン不可のもの)

蓄光シール
持ち物等に貼る暗闇で光るシール

24時間365日OK
夜間も伝言板を通じてやりとりが可能。登録した3名へ瞬時に発見通知メールが届きます。

声かけをしやすくラベルシールを貼っておくことで、発見者が声をかけるきっかけになります。

個人情報の記載不要
氏名・住所・連絡先の記載は不要なので安心です。

お問合わせ
由利本荘市 地域包括支援センター
電話：0184-24-6345

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

由本包括第●●号
令和5年3月吉日

各位

由利本荘市健康福祉部 地域包括支援センター
次長兼センター長 ●●●●●●●●
(公印省略)

由利本荘市おでかけ見守りシールのポスター掲示について (依頼)

日頃より本市の高齢者福祉行政につきまして、格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本市では認知症等で行方不明になることが心配される高齢者の安全確保と、その家族や介護者の精神的負担軽減のため、行方不明等が発生した際に安否情報を共有できる「由利本荘市おでかけ見守りシール」を交付しています。

つきましては、本趣旨をご理解いただき、ポスターの掲示にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本ポスターの配布につきましては、サービス提供元でございます東邦薬品(株)もサポートしております。

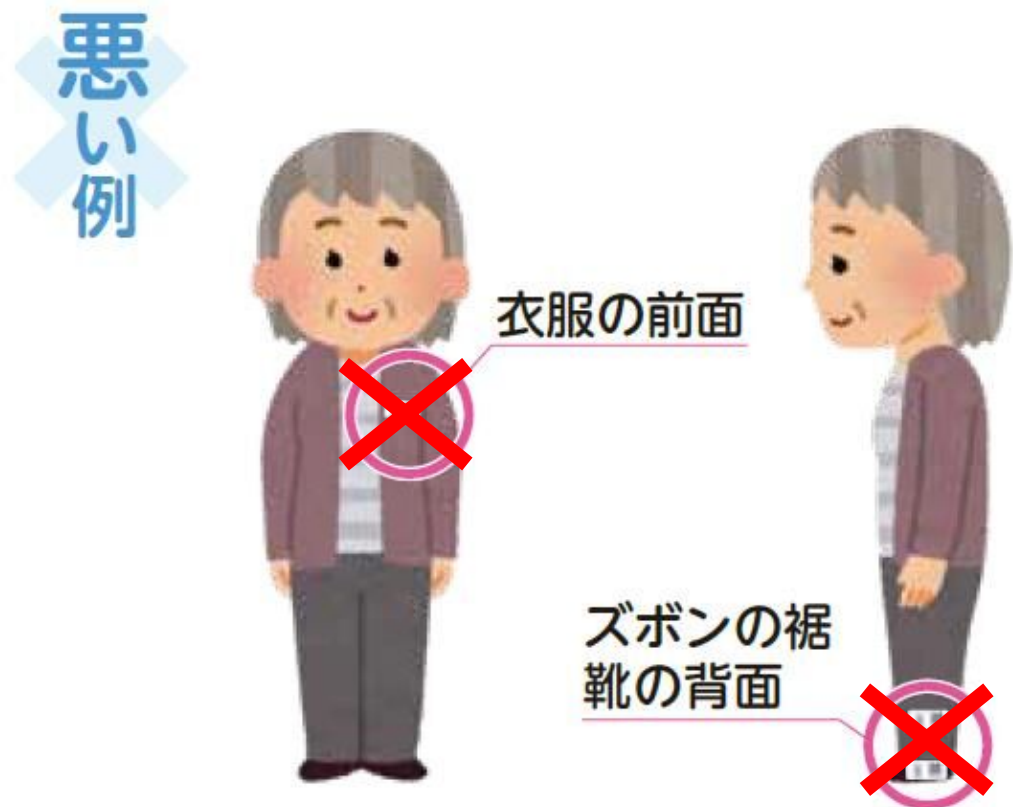
配布物：由利本荘市認知症高齢者等見守り事業「どこシル伝言板」ポスター

【問い合わせ先】
由利本荘市地域包括支援センター
担当：●●●●●●
電話：●●●●●●●●
Fax：●●●●●●●●
Mail：●●●●●●●●●●●●●●●●



地域の認知症高齢者見守り活動等をご支援する為、「啓発用ポスター・チラシデータのご提供」及び「自治体内の医療機関・調剤薬局・ドラッグストアへのポスター掲示依頼やチラシ配布」、「地域での保護模擬訓練の運営協力」等を行っております。

👉 確認 ラベル・シールについて ~貼付箇所~



ラベルシールには発見者がスマホで読み取るためのQRコードが印刷されています。読み取り時に、本人が驚かない場所に貼ってください。

※救急搬送の際、救急隊員は搬送者の右側で作業を行うため、ラベルシールは右上腕部に貼ることを推奨しています。

衣服の全面に貼り付けた場合、発見者がスマホでQRコードを読み取る際に、本人を驚かせてしまうこととなります。ズボンの裾、靴に貼り付けると読み取りにくくなるため、おすすめしません。

『外に貼付』することが望ましいが、内側もOK！必ずしも外に貼付するという決まりはない！

👉 確認 ラベル・シールについて ~発見事例~

【発見事例(外側貼付)】

- <一般市民/認知症サポーター養成講座受講者/企業>
 ・シールを貼付した方がウロウロされており発見し保護



【発見事例(内側貼付)】

- <バス/タクシー/電車(改札)/コンビニ>
 ・『鞆内側に貼付』、お支払い時にカバンを開けた際に発見し保護
 ・『交通系ICカードケースに貼付』、お支払い時に気づき保護

<一般市民/認知症サポーター養成講座受講者>

- ・『押し車の座面裏に貼付』、公園にて座面を空け、荷物をゴソゴソとしている際に気づき通報(保護)

<警察官>

- ・ジャケット内側に貼付しており、保護時にQRコード読み取り活用した事例



【活用事例】

<事件事故_警察機関より>

- ・ATMの前に並ぶ人を保護→振り込め詐欺防止/車輛を運転する人を保護→交通事故予防

<急病怪我_消防機関より>

- ・搬送時に家族との連絡手段確立/ご本人の情報収集/救急搬送時受入先病院でのスムーズな受け入れ

<消費者生活_消費者生活センターより>

- ・サブスクリプションサービスに関する消費者対応(過剰な定額サービスの支払い事案に対する対応)



どこシル伝言板®とは

あらかじめ登録された高齢者が行方不明になった際、衣類等に貼ったQRコードが読み取られると、**家族等へ瞬時に「発見通知メール」が届きます。**発見者はQRコードを読み取ると、**ニックネームや注意すべきこと**などが表示され、対処方法がわかります。発見者と保護者等は、チャット形式の**伝言板で情報交換ができ、お迎えまでのやり取りを迅速に行うことができます。**

“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



共創未来

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

放映日：2021年5月27日(木) 「KNB news every.」

※ KNB news every. とは
全国放送である news every. 放映後の地域情報番組

以下リンク先よりご視聴可能です

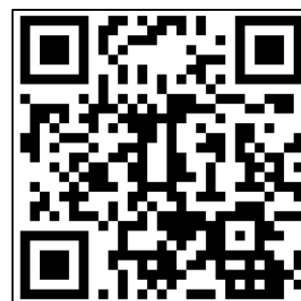
<https://www.youtube.com/watch?v=-sHT5Ctm6II&list=PLW22JyyXvqJ4WkIRdaFeVobcqzmywINpV&index=1>



放映日：2023年6月15日(木)

富山テレビ「ライブBBT」

<https://www.fnn.jp/articles/-/54333>



NHK「ニュース富山」

<https://www3.nhk.or.jp/news/toyama/20230615/3060013543.html>



2023年7月12日(水)

NHK「富山 NEWS WEB」

<https://www3.nhk.or.jp/news/toyama/20230712/3060013750.html>



【動画】
どこシル伝言板
がよくわかる
紹介ムービー



【動画】
発見者がQRコ
ードを読み取っ
た後の流れ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



認知症を患っても

住み慣れた場所で
今までと変わらない
生活をおくることが
できるように



サービスを
提供しております

「目標3・11」に該当



【スローガン】 Leave No One Behind 「誰ひとり取り残さない」